



## 令和8年度 学校経営計画 府中市立府中第一小学校 0410

府中市立府中第一小学校 統括校長 宮内 和夫

教育活動推進テーマ 「笑顔あふれるみんなの学校～認めて・ほめて・励まし・育てる」

教育活動スローガン TRY & ERROR & LEARN 【試行錯誤からの気付き・学び】

### 1 学校経営目標

府中市立府中第一小学校は、第3次府中市学校教育プランの目指す人間像

【人権感覚と規範意識】他者も自分も大切にす、思いやりと規範意識のある人

【社会的な資質・能力】社会の一員としての自覚を持ち、社会に貢献しようとする人、

【確かな学力】自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人 を受けて、本校の教育環境と協力的で温かな地域、学区内の自然環境や文化的環境を十分に生かし、小学校教育の目的である日常生活に必要な基礎学力の定着と望ましい人間関係や自主及び自律の精神を育む教育活動を推進する。そして、府中版コミュニティ・スクールの機能を活用し、保護者・地域から信頼される学校づくりを教育活動推進テーマ「笑顔あふれるみんなの学校～認めて・ほめて・励まし・育てる」、教育活動スローガン TRY & ERROR & LEARN 【試行錯誤からの気付き・学び】の下、進めていく。

### 2 学校経営目標を達成するための基本的な考え方

#### (1) 学校の教育目標

人権尊重の精神とともに、責任と協力を重んじ、適切な判断力と創造性に富んだ情操豊かで自主的健康的な児童の育成を行うため、次の通り学校の目標とこれを踏まえて育成を目指す資質・能力を設定する。

【 】内は目指す資質・能力。

- よく考える子      ～生涯にわたって学び続けることができる児童 【課題発見・対応力】
- なかよくたすけあう子      ～親切にできる児童 【気配り力・共感力・想像力】
- つよいからだの子      ～課題や困難に立ち向かう強い心と体をもつ児童 【行動体力・防衛体力】
- 心ゆたかな子      ～協働できる児童 【人間関係形成力】

## (2) 目指す学校像

学校の教育活動は子供たちのためにある。「それは子供たちの学びと育ちに必要か？」を第一の判断基準軸として教職員が一致協力し、教育課程を編成・実施していく。子供にとっても保護者にとっても、地域にとっても、所属職員にとっても信頼と誇りのもてる学校づくりを進める。二者間の「WIN-WIN」ではなく、「売り手(教職員) 良し、買い手(子供・保護者) 良し、世間(地域) 良しの三方良し」を目指す。以下に、目指す学校像の姿、3点を示す。

- ① 安全・安心・快適な学校～相手意識に立った迅速・丁寧な対応～
- ② 所属職員が切磋琢磨し高め合う学校
- ③ 地域・保護者と連携協力する学校

## 3 中期的目標と今年度の重点及び方策

### ●中期的目標

(1)安全・安心・快適な学校 ～相手意識に立った迅速・丁寧な対応	(2)所属職員が切磋琢磨し 高め合う学校	(3)地域・保護者と 連携協力する学校
<p>①子供の心身のケアに教職員が一致団結して取り組む。</p> <p>②子供の人権が守られる学校環境づくりを推進する。</p> <p>③基本的生活習慣の育成及び定着を推進する。</p> <p>④危機管理を徹底する。</p>	<p>①授業改善に取り組む教師</p> <p>②子供の気持ちに寄り添う指導</p> <p>③各主任を中心にしたチームとしての対応・情報の共有化</p> <p>④学年会や校務分掌を中心としたOJTの充実と学校の運営組織力向上</p> <p>⑤働き方改革推進やカスタマーハラスメント(都条例)に準拠し、適切な教育活動を日々行うために教職員の心理的安全性を担保していく。</p>	<p>①学校と家庭と地域が協力して子供を育てる。</p> <p>②保護者・地域に学校の様子を伝えていく。</p> <p>③府中版コミュニティスクールの更なる発展を図る。</p> <p>④わかば鼓笛隊活動やけやき並木保全プロジェクト、グリーンキーパー連絡会(芝生活用)の更なる充実を図る。</p>

## ●今年度の重点及び方策

### (1) 安全・安心・快適な学校 ～相手意識に立った迅速・丁寧な対応～

「目をかけ、声をかけ、心をかけて育てる」

- ① 子供の心身のケアに教職員が一致団結して取り組む。職層・経験に応じて自分の担当学級だけでなく、学年やブロック、全校の子供を「気にかける」。◎担任は学年の子供の名前と顔を覚える。
  - ◇子供の情報の共有化(マイナス情報だけでなく、「イイね!」の共有。職員室での子供自慢。)
  - ◇心の健康観察の定期的な実施、結果の活用
  - ◇登校渋りが始まった際にできるだけ速やかに管理職を含めて情報共有し学校・保護者と相談しながら適切な対応を取っていく。定期的に学年別の不登校対策委員会を開催し、情報共有だけでなく今後の対策計画や対策改善を検討していく。
  - ◇家族の問題や医療や福祉的な問題を抱えた案件には外部機関や市教委との連携をより一層進めていき、子供第一の対応に取り組む。記録を関係教職員で共有できるようにDB化を試行させていく。
- ② 子供の人権が守られる学校環境づくりを推進する。
  - ◇安心して登校できる学級づくりを進める      ◇いじめ、登校渋り、不登校への適切な対応
  - ◇規範意識の育成及び定着                      ◇サービス事故防止の徹底(凡事徹底)
  - ◎サポートルームの適切な運営 ～登校渋りが始まった際に速やかに管理職を含めて情報共有し学校・保護者と相談しながらその時点で最適な対応を取っていく。
- ③ 基本的な生活習慣の育成及び定着を推進する。
  - ◇【一小ABC】5つの重点:挨拶、返事、廊下歩行、整理整頓、丁寧な清掃
  - ◇早寝、早起き、ノースクリーンデーの取組
- ④ 危機管理を徹底する。～悪い情報(学校に危機的なこと)ほど速く管理職に伝わる組織。
  - ◇オン・ザ・フライ・ミーティングの活用 「とりあえず」「一報」「ちょっと気になることが・・・」
  - ◇報告、連絡、相談、記録(報連相記)を日常的に行う。毎週金曜日の生活指導夕会での情報共有。情報共有すべき基準を生活指導主任から示させて全教職員で確認し、指導・支援のためのチームス活用で、会の時短やヒヤリハット集として残せるようにさせていく。好事例も報告させて、各種対応策の積み上げを図っていく。夕会時にいじめミニ研修を実施させるなど、より組織的な生活指導の充実を目指す。

## (2) 所属職員が切磋琢磨(自己研鑽⇔相互研鑽)し高め合う学校

### 【一小プライド】「愛と情熱、敬意と誠意」をもって職務に臨む

#### ①授業改善に取り組む教師

◇学習指導要領に示されている主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善、単元計画を重視した持続可能な授業改善、体験的・課題解決的な学習の充実を日々図っていく。

◇子供が主体的に選択・判断する教育活動の充実

◇府中市教育委員会より示されている義務教育9年間の系統的・継続的な取組により、特に重視して育成を目指す資質・能力「課題を発見し、課題解決に主体的に向き合い、自ら考えを形成するとともに他者と協働しながら合意形成を図り、よりよい自己を実現する力」を育成するために以下の4つの視点を教育活動に取り入れて実施していく。

○発見すること(意欲・好奇心・課題発見力等) ○対話すること(コミュニケーション力・多様性等)

○決定すること(自己調整力・批判的思考力等) ○表現すること(実行力・表現力・責任感等)

◇道徳交換授業や教科単元の交換授業を計画・実施し、指導力向上や児童理解を深めていく手段とする。

◇都施策「デジタルを活用したこれからの学び」の実践からも授業改善を積み上げていく。研究部がリードして進めていく過程で、教員の授業改善への意欲を醸成していく。

#### ②子供の気持ちに寄り添う指導

◇心情的共感と客観的事実についての指導を行う。

◇熱心な無理解者になっていないか常に自己の指導を内省する。

◇全教職員で高学年のリーダー性を伸ばしていく。子供の自発性を尊重した意図的・計画的な年間を通したわかば鼓笛隊の指導・支援を音楽専科や高学年担任を中心に行う。委員会・クラブでの指導・支援の充実を各担当教員が意図的に行う。わくたて交流(縦割り異学年交流(R7年度より))において、リーダーシップの醸成、互いに違いを認め合い尊重し合う態度を育成する。

#### ③各主任を中心にしたチームとしての対応・情報の共有化

◇リーダーシップとフォロワーシップ 「チームのために自分は何ができるか」

◇個人最適(独善的)ではなく、全体最適の視点で思考し行動する。

◇ケア(気遣い、気働き)、同僚性の更なる醸成

#### ④OJTの充実と学校の運営組織力向上

- ◇学年会、専科会、学校運営組織がOJTであるという意識醸成。
- ◇学年副主任や分掌副主任ポスト、分掌のW主任制の良さを生かした効果的な運営管理を行わせていく。
- ◇企画会での学年・専科主任育成とOJT研修会での個人の能力・資質育成と組織貢献力向上を図る。
- ◇ミドルリーダーの育成を主幹教諭(副校長)が意図的・計画的に進めていく。
- ◇教育課題対応や現教職員構成で、より効果的な教育活動ができるように最適な分掌組織を単年度単位で編成することも想定して副校長・主幹に年間を通して検討をさせていく。

#### ⑤働き方改革推進やカスタマーハラスメント(都条例)に準拠し、適切な教育活動を日々行うために教職員の心理的安全性を担保していく。

- ◇出退勤の適切な管理。「かえるボード」による退勤時刻を意識して逆算をする働き方を進める。勤務開始時刻順守のみでなく勤務時間終了時刻順守の意識向上。
- ◇デジタル文書回覧や文書決裁を活用して会議減を図り、勤務時間内に個々が活用できる時間を増やす。

### (3) 地域・保護者と連携協力する学校

「売り手(教職員)良し、買い手(子供・保護者)良し、

世間(地域)良しの三方良し」

#### ①学校と家庭と地域が協力して子供を育てる

- ◇保護者会や学校行事、地域行事、スクールコミュニティ(SC)協議会、わかば鼓笛隊活動、グリーンキーパー連絡会、けやき並木保全プロジェクトの利活用
- ◇SC協議会を学校の行事や授業公開時に設定し、参観後に学校経営に関するご意見をいただく場とする。
- ◇学級担任だけでなく全教職員が「府中第一小学校いじめ防止基本方針」について保護者に説明ができるようにする。

#### ②保護者・地域に学校の様子を伝え、保護者・地域から子供たちの善行を知らせてもらう双方向性を指向する。

- ◇学校便り、学年便り(学年の窓)、学級通信、ホームページによる啓発
- ◇PTA本部会の活用、SC協議会、保護者会 ◇学校HPやスマート連絡帳の更なる活用
- ◇全校朝会時に保護者・地域から寄せられた子供たちの善行を紹介し、自分が府中第一小学校の一員であることに誇り(プライド)がもてるようにしていく。

### ③府中版コミュニティスクールの更なる発展を図る。

SC協議会を学校の行事や授業公開時に設定し、参観後に学校経営に関する具体的なお意見をいただいく。地域人材・資源活用など、地域コーディネーターを中心に以下の活動を推進していく。

#### ◇学校支援ボランティア活動

図書修理・月例の全クラス読み聞かせ・家庭科のミシン操作・安全パトロール・芝生・園芸などのボランティア活動に保護者を中心に参加していただき、地域・保護者から学校教育を支えていただく。キャリア教育においては多種多様な職種の方を招き、子供たちの職業観を醸成していく。

◇ふるさと文化財課施策である小中高連携事業「けやき並木保全プロジェクト」は環境委員会児童活動のみならず、全校朝会や授業を活用して全校で学び、保護者や地域へ発信するなどの学習材としていく。

## (4) その他、第3次府中市学校教育プラン・教育施策等との関連

### ①いじめ防止・健全育成

◇学級活動や児童会を通して、自分事としていじめについて考え、話し合い、決定し、行動する力の育成、及びいじめを許さない学校づくりを子供たちが主体的にすすめることを目指す。

### ②特別支援教育の充実 「第5次府中市特別支援教育推進計画」に基づく取組を実施していく。

◇環境調整によって軽減される特性に着目し、多様な環境調整に関しても学び・実践していく必要がある。

◇専門性の向上。ICT 機器を活用した授業改善。特別支援教室における指導の充実。関係機関との連携。

◇レベル1,2,3に準拠した指導・支援を組織的に進める。 ◇副籍交流(直接・間接)の計画的な実施

### ③英語教育の充実

◇ALTの授業以外での効果的な活用の工夫を進めるとともに、授業、TGGや「世界とつながる英語 Enjoy week」を関連付け、英語のコミュニケーションを図る機会の充実

### ④小中連携・一貫教育の推進

◇府中第一中学区における目指す子供像と育成・醸成すべき力を共有して9年間の「学び」と「育ち」の充実を図る。R8年度は都教委施策「デジタルを活用したこれからの学び」に関して府中第一中学校区3校で取り組み、分科会においては研究部を新設して既存の部会と連携しながら進めていく。

【参考】4 R7年度の数値目標:関係者評価(①児童・②保護者)と自己評価(③教員)

【①児童852名(1~6年) ②保護者462名(家庭数772) ③教員42名】

(1) 児童の学習や生活の様子 ①②③肯定的評価 85%以上 ※アンダーラインは達成できなかった項目

質問 1				質問 2			
①いじめや仲間外れをせず、友達となかよく生活している				①みんなのきまりを守っている			
②お子さんは、友達と仲良く過ごさせている				②お子さんは、きまりを守って行動している			
③私は、自他を大切にすることを育み、その結果なかよく学校生活を送っている				③私は、学校生活のきまりを守るように指導している			
	肯定的評価	否定的評価	分からない		肯定的評価	否定的評価	分からない
児童	89.3%	10.7%	—	児童	90.5%	9.5%	—
保護者	94.2%	4.9%	0%	保護者	88.3%	9.8%	1.9%
教員	100%	0%	—	教員	100%	0%	—
質問 3				質問 4			
①しっかりとした挨拶やいねいな言葉づかいをしている				①自分には良いところや得意なことがある			
② <u>お子さんは、挨拶がしっかりとできる</u>				② <u>お子さんは、自信をもって学校生活を送っていると思う</u>			
③私は、しっかりとした挨拶ができるように指導している				③私は、一人一人のよさを認め励ますなど大切にしている。			
	肯定的評価	否定的評価	分からない		肯定的評価	否定的評価	分からない
児童	85.8%	14.2%	—	児童	87.9%	12.1%	—
保護者	74%	23.4%	2.6%	保護者	81.8%	14.3%	3.9%
教員	100%	0%	—	教員	100%	0%	—
質問 5				質問 6			
①係ると決めたことや、やらなければいけないことを、最後までやりぬいている				① <u>学校は楽しい</u>			
② <u>お子さんは、学習や課題に取り組む時、最後までやり抜くことができる</u>				②お子さんは学校生活を楽んでいる			
③私は、学習や課題を最後までやり抜くよう指導している				③私は楽しく学校生活を送れるよう工夫して指導し、その結果楽しく学校生活を送っている			

	肯定的評価	否定的評価	分からない		肯定的評価	否定的評価	分からない
児童	85.4%	14.6%	—	児童	83.3%	16.7%	—
保護者	81.6%	17.3%	1.1%	保護者	91.3%	6.9%	1.8%
教員	100%	0%	—	教員	100%	0%	—

### 質問7

- ①学習の準備 [筆箱・下敷きも含む]や片付けをきちんとしている
- ②お子さんは、身の回りの整理・整頓がきちんとできる
- ③私は、身の回りの整理・整頓がきちんとできるように指導している

### 質問8

- ①毎日、家で学習する習慣 [目安:学年×10分]が身に付いている
- ②お子さんは、毎日家庭学習に取り組んでいる(目安:学年×10分)
- ③私は、意欲をもって家庭学習に取り組める工夫をしている(宿題を含め10分×学年ぐらいの時間)

	肯定的評価	否定的評価	分からない		肯定的評価	否定的評価	分からない
児童	80.2%	19.8%	—	児童	73.6%	26.4%	—
保護者	39.8%	58.2%	2%	保護者	74.4%	24.9%	0.7%
教員	94.7%	5.3%	—	教員	89.5%	10.5%	—

### 質問9

- ①学校の授業がよく分かる
- ②お子さんは、漢字や計算力など学年の基本的な学習を理解している
- ③私は、学習の基礎・基本が定着するよう努めている。

### 質問10

- ①体を動かすことが好きで、進んで運動している
- ②お子さんは、体を動かすことを楽しみ、進んで運動している
- ③私は、子供が体を動かす楽しさを感じ、進んで運動するように指導している。

	肯定的評価	否定的評価	分からない		肯定的評価	否定的評価	分からない
児童	91.9%	8.1%	—	児童	79.3%	20.7%	—
保護者	84.5%	14.7%	0.8%	保護者	78%	21.4%	0.6%
教員	100%	0%	—	教員	97.4%	2.6%	—

**(2) 学校運営 ①②③肯定的評価 85%以上 ※アンダーラインは達成できなかった項目**

質問11				質問12			
①困っているときなどに先生たちは話を聞いてくれたり、励ましたりして助けてくれる ②学校は、お子さんの声に対し、親身になって耳を傾け、受け止めようとしている ③私は、子供たちの声に耳を傾け、適切に対応している				①自分の安全は自分で守ろうとしている[火災や地震、交通事故、熱中症対策、不審者など] ②学校は、児童の安全(火災や地震、不審者への対応、熱中症対策、交通事故等)について配慮できている ③私は、子供たちが自分の安全は自分で守り生活できるように指導している。(火災や地震、不審者への対応、熱中症対策、交通事故等)			
	肯定的評価	否定的評価	分からない		肯定的評価	否定的評価	分からない
児童	86.1%	13.9%	—	児童	94%	6%	—
保護者	84.6%	8.3%	7.1%	保護者	92.6%	3%	4%
教員	100%	0%	—	教員	100%	0%	—
質問13				質問14			
①府中一小はよい学校だと思う ②一小の教育活動のあり方に満足している ③私は、特色があって 誇れる良い学校だと思う				②家庭に必要な情報が学校から提供されている ③私は、教育活動の様子が分かるようにしている			
	肯定的評価	否定的評価	分からない		肯定的評価	否定的評価	分からない
児童	93.5%	6.5%	—	児童	—	—	—
保護者	88.1%	6.1%	5.8%	保護者	87.7%	7.3%	5%
教員	92.1%	7.9%	—	教員	97.4%	2.6%	—
設問15							
②学校は、保護者や地域の要望に迅速に対応している ③私は保護者や地域と協力をして教育活動をすすめている							
	肯定的評価	否定的評価	分からない				
保護者	75.5%	6.7%	17.8%				
教員	97.3%	2.7%	—				

